



川端絵美さんから指導を受ける子どもたち



優勝目指し果敢にポールを攻める子どもたち

目標は全国大会金賞獲得！ 活汲小中リコーダースプリングコンサート開催



2月24日、中央公民館で全国リコーダーコンテストに出場する活汲リコーダーアンサンブルの春のコンサートが行われました。

この日はコンサートの開催が危ぶまれましたが、小学生は「南アメリカの歌と踊り」など4曲を披露。中学生はインフルエンザの影響で残念ながらビデオ上映になりましたが、ピアノとの合奏では見事な演奏を披露し、会場を訪れた250人の観衆から大きな拍手が送られていました。

最後に津別中学校吹奏楽部と津別混声合唱団、3人のピアノリストとの合同合奏が行われ、会場内は音楽の輪で広がりました。

活汲小中学校を代表して山岸胡桃さんが「全国大会では取ったことがない金賞を取れるように頑張ってきます。」と抱負を述べました。

活躍したつべつスキースポーツ少年団 川端絵美杯ジュニアスキー大会開催

2月25日、津別スキー場で第3回川端絵美杯ジュニアスキー大会兼第24回綱走管内スポーツ少年団津別大回転競技大会が、管内市町村から99人が参加し開催されました。

大会当日は天候にも恵まれ、子供たちは父兄の声援を背に果敢な滑りを見せていました。ゴールエリアでは、記録が発表されるたびに一喜一憂する姿が見られました。

つべつスキースポーツ少年団からも4人が入賞する好成績をおさめました。川端絵美さんは「たくさん練習して、私がテレビなどで解説できるような選手になつて下さい」と子供たちにエールを送っていました。前日の24日には、37人が参加して公開練習が行われ、川端さんが滑ってくる子どもたち一人ひとりに適切なアドバイスを送っていました。その後、撮影したビデオをみんなで見ながらミーティングを行いました。

家庭でもできる楽しい運動 ライフスタイルを改善しましょう



昨年の12月から実施されているライフスタイル改善プログラム（みんなで楽しく運動教室）は、検診でメタボリックシンドロームや糖尿病予備軍と分かった方を対象に、家庭でも簡単にできる運動で予防してもらう教室です。

3月9日に行われた教室には体育指導員・保健師を含め15人の方が参加し、インストラクターの石川朋美先生の指導を受けながら足腰を強くするうち体操、太ももを強くするキック体操などを行いました。

また音楽に合わせてリズム体操やタオルを使つてのストレッチなど、みなさん心地よい汗を流していました。毎回参加している手賀武一さんは「みんなと一緒にする運動はやりがいがあります。体重も落ちました。この教室のおかげです」と話してくれました。



まちのわだい

農畜産物の関税撤廃阻止を！ 日豪EPA交渉で町民集会

3月7日、中央公民館で日豪EPA交渉の影響と暮らしを考える町民集会が開催されました。集会には農業者だけでなく、町内の各事業所や自治会関係者など350名が参加しました。

佐藤町長は「関税が撤廃された場合、町内の影響額が農業関係だけで45億円となり、平成19年度の一般会計予算額とほぼ同額、後藤J A組合長は「道内では農畜生産の減少、関連製造業・地域経済の影響を試算すると1兆3千7百億円になる」とあいさつの中で影響の大きさを訴えました。



続いて綱走支庁の巻口産業振興部長の「日豪EPA交渉がもたらす地域への影響について」の講話を行い、最後に「関税撤廃を阻止するため全町民で行動を展開していく」集会宣言を採択しました。

2月23日、ホテルフォレスターで津別スキー場にスキーツアーに訪れた船橋市、南アルプス市の応援団一行と交流会を開催しました。

船橋市からは船橋・津別青少年交流協会の会員ら28人、南アルプス市からは市職員4人、津別町からは町長、議長をはじめ12人が出席しました。今までもそれぞれに交流を続けてきた3市町ですが、交流会では、津別スキー場存続を願う力強い応援の声とともに、今後も青少年交流、特産品の販売、町民・職員交流などさらなる発展を誓い合い楽しいひと時を過ごしました。



スキー場存続を願うスキーツアー船橋市、南アルプス市と交流会

公開職員研修が開催 最近の気象状況と防災を学ぶ



3月16日、林業研修会館で「天気予報のポイントと最近の気象状況について」をテーマにした公開講座が行われ、町職員など約40人が参加しました。

講師に綱走地方気象台の職員2人を迎え、予報官の山中智さんが防災気象情報について説明。なぜ、天気予報がはずれるのか、地球温暖化の現状など興味深い話しをしてくれました。防災関係は戸部幸治さんが、揺れる前に地震の発生を知らせることができる緊急地震速報について説明しました。また、畜産の警報は可能か、や、今年の津波警報について、などの質問も多く出され、予定時間を超える公開講座になりました。

社明運動作文コンテストで上里小学校の中山千明さん（6年生）が道東地区の優秀賞を受賞しました。

中山さんの作文「人が人を支えている」は、互いに支え合うことが明るい社会につながることを自分の体験を交え、書かれています。中山さんは「入賞できてうれしいです。上里小で、一人ではできないこともみんなとならできることを学びました。小学校生活のいい思い出になりました」と話してくれました。山田誠彦校長も「普段から物事をしっかりと考えている子どもなのでそのことが作文に表現されたと思います」と喜んでいました。



小学校生活のいい思い出
社明運動作文コンテストで優秀賞

住み慣れた地域で暮らしたい 認知症予防講演会開催



3月7日、中央公民館で認知症予防講演会が開催され、講師の長井卷子さん（札幌市東区第2地域包括支援センター長）が「認知症のお年寄りを地域で支えよう」をテーマに講演しました。

長井さんは「認知症とはただの物忘れではなく誰もがかかる脳の病気」「早期発見、早期対応が大切。また地域や家庭内のバックアップが必要」と強調し、元気なうちから活性化のある生活と体を鍛えていくことで予防にもなると話してくれました。

会場を訪れた約100人の方は熱心に聞き入り、認知症についてさらに理解を深めました。